

想い出かしら

稀れなる星は

いつも

目の前に輝いては

一言も喋ることなく

消えてゆくので

掴まえようとすれども

必ず失敗をしてしまうのだが、

想い出せないほど昔に

しっかりと

この両の手に握り締めた感触だけは

私の記憶に焼きついて

離れることはない。